



平成 30 年 4 月 6 日

各 位

会社名 株式会社 幸和製作所
代表者名 代表取締役社長 玉田 秀明
(コード番号：7807 東証 J A S D A Q)
問合せ先 取締役管理本部長 大井 実
(TEL. 072-238-0605)

個別業績と前期実績値との差異に関するお知らせ

当社は、平成30年2月期の個別業績につきまして、前期実績値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 30 年 2 月期通期個別業績と前期実績値との差異

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株あたり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前期実績(A)	3,595	203	274	238	69.93
当期実績(B)	4,294	548	474	377	106.52
増減額(B)－(A)	698	344	199	139	－
増減率	19.4%	169.3%	72.7%	58.4%	－

- (注) 1. 当社は、平成 29 年 7 月 14 日開催の取締役会決議により、平成 29 年 8 月 4 日付けで普通株式 1 株につき 10 株の割合で株式分割を行っておりますが、前期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1 株当たり当期純利益金額を算定しております。
2. 当社は、平成 30 年 1 月 18 日開催の取締役会において、平成 30 年 3 月 1 日付で普通株式 1 株につき 3 株の割合で株式分割を行う旨を決議しておりますが、前期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1 株当たり当期純利益金額を算定しております。

2. 差異が生じた理由

売上高につきましては、当社の主力商品である歩行車の売上高が好調に推移したことから介護福祉用具貸与・販売事業者ルート向けの販売が大きく伸びました。

経常利益及び当期純利益におきましても、前期は連結子会社からの配当金を営業外収益に計上していたことに対し当期は配当を実施しなかったこと、上場関連費用を営業外費用に計上したことなどの影響を受けましたが、粗利率の高い歩行車の売上が好調に推移したこと、コンテナによる得意先倉庫への直接納品が増えたことによる物流費減少等により、大幅に営業利益が増加した結果、前期の経常利益及び当期純利益を大きく上回る業績となりました。

以上